

# シンポジウムシリーズ「九大バリアフリースタンドが社会を創る」

主催：九州大学キャンパスバリアフリー検討研究会

九州大学は、2018年度より障害者支援推進専門委員会（現在の障害者支援推進委員会）のもとに「九州大学キャンパスバリアフリー検討研究会」を発足し、共生社会の創出を目指した新しいバリアフリーの環境づくりを開始した。文理横断の専門家と環境整備を担う職員で構成する検討研究会は、障害当事者の協力を得て多様なニーズを探し出し、対応策を案出している。この検討研究会の取組みを広く社会と共有するとともに、バリアフリーの議論を学内で閉じずに社会に開くことを目的に、2018年度より『九大バリアフリースタンドが社会を創る』と題したバリアフリーシンポジウムシリーズを開催している。本シンポジウムは、多様なバリアフリーに関するテーマが連続するシンポジウムシリーズであり、検討研究会の構成員に限らず、先進的なバリアフリーの研究、実践に取り組む学内の教員や、学外の識者をゲスト講師に招き、全学FDとして開催している。

2019年度より、バリアフリーに関する多様な6テーマを設定し、これまで全学FDとしてシンポジウムシリーズを開催した（図1）。全6回のテーマは、身体障害者の移動をテーマにした「坂道のバリアフリー」、色覚の多様性をテーマにした「色のバリアフリー」、UDフォントをテーマにした「文字のバリアフリー」、発達障害・精神障害を支援する空間をテーマにした「ひとり空間のバリアフリー」、視覚障害者の情報保障をテーマにした「触知バリアフリー」である。今回、2019年度末のコロナ禍の拡大を受けて延期していた第6回『バリアフリーとアート』を開催する。

2019 令和元年 6月	7月	10月	11月	2020 令和二年 1月	3月
 坂道のバリアフリー 6/22 sat	 色のバリアフリー 7/27 sat	 ものバリアフリー 10/26 sat	 ひとり空間のバリアフリー 11/30 sat	 触知バリアフリー 1/25 sat	 3/7 sat バリアフリー アート×
<b>坂道のバリアフリー</b> 九大伊都キャンパスが目指すもの	<b>色のバリアフリー</b> 九大がつくるカラーバリアフリーキャンパス	<b>文字のバリアフリー</b> 九大バリアフリーフォント 障害者や高齢者が読みやすい文字	<b>ひとり空間のバリアフリー</b> ひとりで居たい九大ソロ空間 精神障害・発達障害のバリアフリー	<b>触知バリアフリー</b> 触って分かる凸凹マップ 九大がつくる触知案内図	<b>アート×バリアフリー</b> 九大キャンパスアートとバリアフリー
6月22日(土) 13:30-15:00 九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 多目的ホール	7月27日(土) 13:30-15:00 九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 多目的ホール	10月26日(土) 13:30-15:00 九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 多目的ホール	11月30日(土) 13:30-15:00 九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 多目的ホール	1月25日(土) 13:30-15:00 九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 多目的ホール	3月7日(土) 13:30-15:00 九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 多目的ホール
<b>クロストーク</b> 九大における空間バリアフリーのこれから 樋口明彦氏 九州大学工学研究院 鶴崎直樹氏 九州大学人間環境学研究院 島田乃梨子氏 九州大学人間環境学研究院 羽野暁氏 九州大学B F研究会	<b>話題提供</b> 2色覚を基点とした色彩デザイン手法の開発 須長正治氏 九州大学芸術工学研究院 <b>フリートーク</b> 九大におけるカラーバリアフリーの展開 須長正治氏 前掲 九州大学ピアサポーター学生 高木達博プロジェクトメンバー 羽野暁氏 九州大学B F研究会	<b>話題提供</b> ユニバーサルデザインフォントの挑戦（仮題） 伊原久裕氏 九州大学芸術工学研究院 <b>フリートーク</b> 九大におけるUDフォントの展開 伊原久裕氏 前掲 須長正治氏 九州大学芸術工学研究院 榑草氏 九州大学芸術工学研究院 羽野暁氏 九州大学B F研究会	<b>話題提供</b> ひとり空間の可能性（仮題） 西出和彦氏 前東京大学バリアフリー支援室長兼支所長 <b>フリートーク</b> 九大におけるソロ空間の取組みについて 西出和彦氏 前掲 鶴崎直樹氏 九州大学芸術工学研究院 田中真理氏 九州大学基幹教育院 鶴崎直樹氏 九州大学人間環境学研究院 横田晋務氏 九州大学基幹教育院 羽野暁氏 九州大学B F研究会	<b>クロストーク</b> 九大における触知案内図による移動可能性 大枝良直氏 九州大学工学研究院 吉住寛之氏 UDC 羽野暁氏 九州大学B F研究会	<b>話題提供</b> 空間デザインとバリアフリー（仮題） 加藤公敬氏 日本デザイン振興会 <b>フリートーク</b> 九大におけるアート空間の展開と可能性 加藤公敬氏 前掲 坂井猛氏 九州大学キャンパス計画室 鶴崎直樹氏 九州大学芸術工学研究院 羽野暁氏 九州大学B F研究会

図1 2019年度バリアフリーシンポジウムシリーズ

シンポジウムシリーズ「九大バリアフリースタンドが社会を創る」  
第6回「バリアフリーとアート」

多様性尊重社会の実現に向け、空間や制度、しくみのバリアフリーが推進されているが、その深化には多様性に対する相互理解、いわゆる「心のバリアフリー」が欠かせない。九州大学キャンパスバリアフリー検討研究会では、障害者支援の相互理解を目的に、キャンパス空間に障害者アートを展示する「九大バリアフリーアートプロジェクト」を進めている。2019年度に開始した同プロジェクトでは、展示第1弾として中央図書館エントランス前の通路壁面に障害者アート作品4点を展示しており、作品の鑑賞を通して障害者の才能に触れ、気づく場を創出している（写真1）。本シンポジウムでは、元日本デザイン振興会理事の加藤公敬氏を招き、キャンパスバリアフリー検討研究会のメンバーとともに、障害者アートとデザインの視点から多様性尊重社会の実現に資するバリアフリーを考える。



写真1 バリアフリーアートプロジェクト第1弾の展示状況（中央図書館エントランス前）

1. 主催 九州大学キャンパスバリアフリー検討研究会
2. 日時 2022年3月19日（土）13時30分～15時00分
3. 場所 九州大学伊都キャンパス椎木講堂大会議室（会場＋オンラインのハイブリッド方式）
4. 対象 全学の教職員、学外のデザインに興味のある人、福祉関係者、一般市民など
5. プログラム
  - ・ 話題提供：「アート、デザインとバリアフリー」（仮題）  
加藤公敬氏 Future Center Alliance Japan 理事、元日本デザイン振興会理事
  - ・ ディスカッション  
加藤公敬氏（前出） 鷓飼哲矢氏（芸術工学研究院） 坂井猛氏（キャンパス計画室）  
モデレーター 羽野暁（キャンパスライフ・健康支援センター）
6. 問い合わせ キャンパスライフ・健康支援センター 羽野暁  
メール：hano-s@chc.kyushu-u.ac.jp 電話：092-802-5859